

場所	分類
原子炉建屋内 RB	
タービン建屋内 TB	
R ZONE R	
Y ZONE Y	
G ZONE G	
その他() Z	

TB

5

- 1 時間
- 2 距離
- 3 遮へい
- 4 線源の除去
- 5 遠隔、ロボット化
- 6 汚染拡大防止
- 7 その他

被ばく低減対策好事例集

番号 29-04-02

内 容	作業場所を低線量率エリアへ変更		
作業部位	1号機タービン建屋 1階		
概 略	干渉配管切断時、高線量率エリアである地下1階での作業を行わず、低線量率エリアである地上1階から行った。		
評価 (定性 定量)	効果	対策前	対策後
		線量率(mSv/h) 7~22	0.5~4.0
		人工数(人日) --	--

事例詳細

対策前 干渉配管を地下1階エリアから切断する際、床ドレンサンプ近傍(地下1階作業エリア)は高線量率エリアであった。

対策内容 比較的低線量率エリアである地上1階から切断することとし、約10mの遠隔操作を行った。

■遠隔操作による低線量率エリアからの作業

干渉配管の切断を行う治具(油圧カッター等)を準備
ヒータドレン配管等の影響が少ない1階面から作業を実施

